

## シャフトカップリング取付取外し要領

### 1 はじめに

シャフトカップリングは、工場出荷時に必要なグリースが塗布されておりそのまま組込みが可能です。

スリーブ内面と軸の接触部分は、摩擦結合が機能するようにグリースなどなく、乾燥し汚れも無いことを確認して下さい。

### 2 取付要領

2.1 連結させる2つの軸の同軸性が、確保されていることを確認して下さい。

2.2 重量が、ハンドリングできる範囲であれば、アセンブリ状態で組込み下さい。それより重くなる場合は、それぞれの部品ごとに、装置に組込み下さい。

2.3 ボルトを締めこむ前に、両圧力リングが平行になるような位置状態であることを確認して下さい。

2.4 圧力リングが平行に装着されていることを確認した後、

a. 最初は締められる範囲で手締めでボルトを、

b. 締めた後は適切なレンチを用いて、締めこみます。

- ・締めこみ方は、ボルトを対角に締めこむのではなく、隣同士のボルトを順次に締めこみますが、一度に規定トルクをかけるのではなく、各ボルトを同レベルの締め込み量で、締めて下さい。

- ・規定トルクの8割方に到達すれば、約30度位ずつ締めていき、規定トルクに達した後、全体でボルト締め付けトルクのアンバランスがないか確認して下さい。

### 3 取外し要領

取付の手順の逆で、ボルトを緩めて下さい。

圧力リングが平行になっていることを確認しながら緩めて下さい。



1)少数のボルトに負荷が集中しない様に、一様にゆるめてください。

ボルトの永久歪、さらに破断につながる危険性があります。

2)どのボルトもねじ穴をつぶさないでください。

3)ボルト軸方向に身体の一部を置かないようにしてください。